



2019年3月期 第2四半期 決算補足資料

証券コード 3559 株式会社ピーバンドットコム

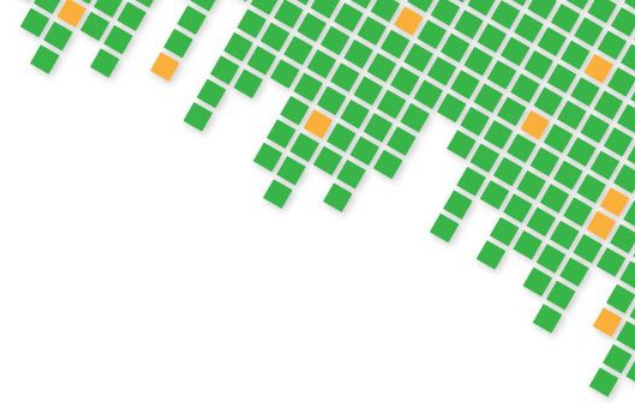


2018年11月12日

1. 第2四半期決算概要

2. 今後の事業戦略

参考資料. 当社の事業概要



1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

決算ハイライト — 2019年3月期 第2四半期 —

業績

売上高	966	百万円	(前期比	1.8%	増)	↑
営業利益	137	百万円	(前期比	6.2%	増)	↑
経常利益	137	百万円	(前期比	5.5%	増)	↑
当期純利益	106	百万円	(前期比	10.7%	増)	↑

売上
トピック

- ・ 設計から実装まで**ワンストップで利用**する顧客が**引続き拡大**
- ・ 製品極小化に伴う**基板の多層化**に加え、**量産の利用ニーズ**が拡大
- ・ 国内の**電子工業生産額は、前年並**で推移

利益
トピック

- ・ 国内外仕入先との交渉による**原価低減努力**
- ・ 予実管理の徹底で、想定外の支出を抑え**販売管理費を抑制**

売上高・利益ともに昨年実績を上回って推移。

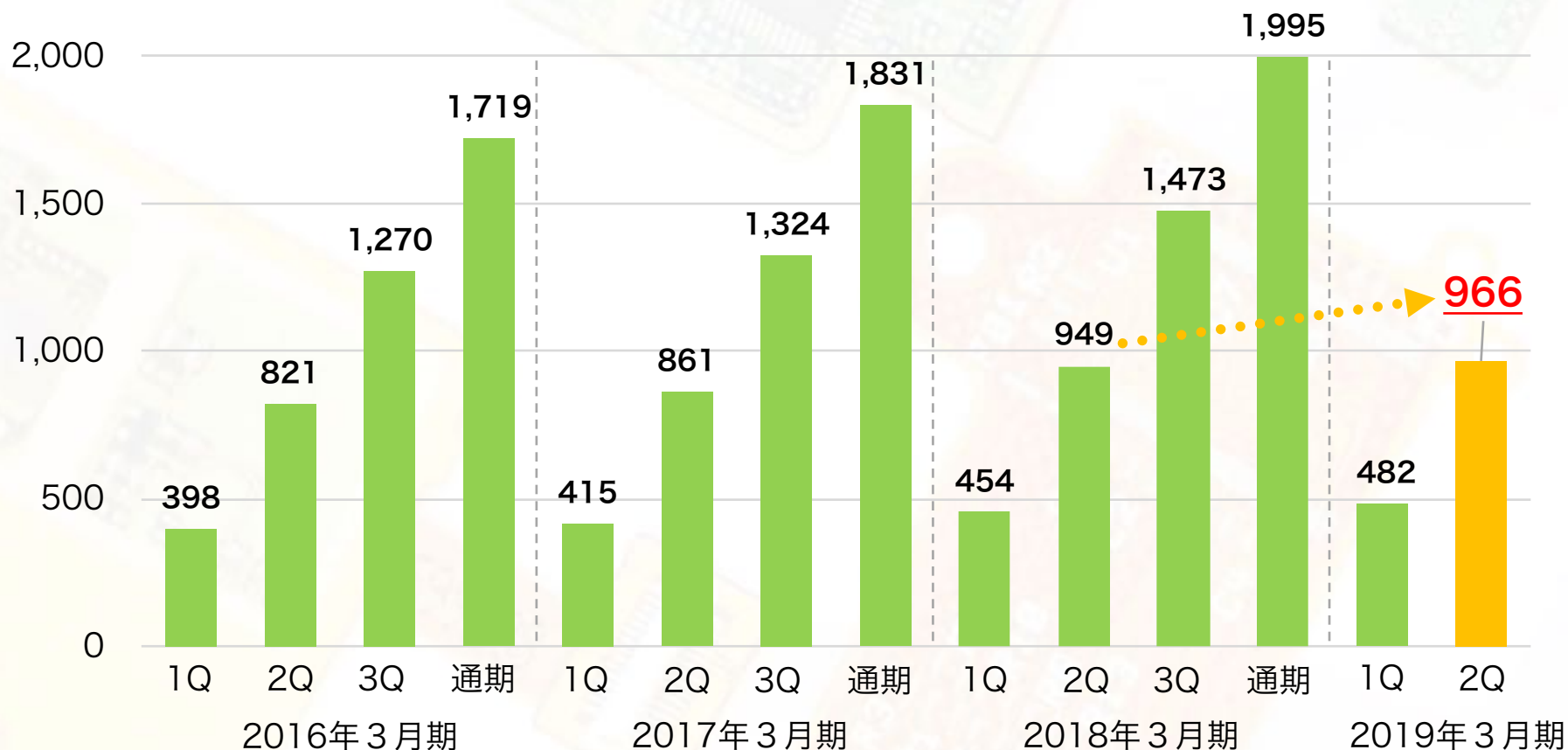
単位：百万円

	前年同期	当第2四半期			2019年3月期 通期業績予想	
	実績	実績	前期比	前期比 (%)	計画	進捗率
売上高	949	966	+17	1.8%増	2,102	46.0%
売上総利益	323	343	+21	6.4%増	725	47.4%
販売管理費	193	205	+13	6.5%増	430	47.8%
営業利益	129	137	+8	6.2%増	295	46.7%
営業利益率	13.7%	14.3%			14.0%	
経常利益	129	137	+7	5.5%増	298	46.0%
経常利益率	13.7%	14.2%			14.2%	
当期純利益	96	106	+10	10.7%増	224	47.6%
当期純利益率	10.2%	11.0%			10.6%	

四半期毎の売上累計は**継続して成長**。

(百万円)

※売上高は期間累計の値



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

第2四半期売上累計は**過去最高**となる

国内の電子工業生産が前年並で推移し、
競合社（国内・海外メーカー）との競争も進む中、
設計・製造・実装のワンストップ利用客の増加や、付加価値の高い多層基板、
量産での利用が増加し、第2四半期売上累計**966百万円は過去最高**となる。

サービスの水平展開により利用客全体に占める**ワンストップ利用率**が増加。

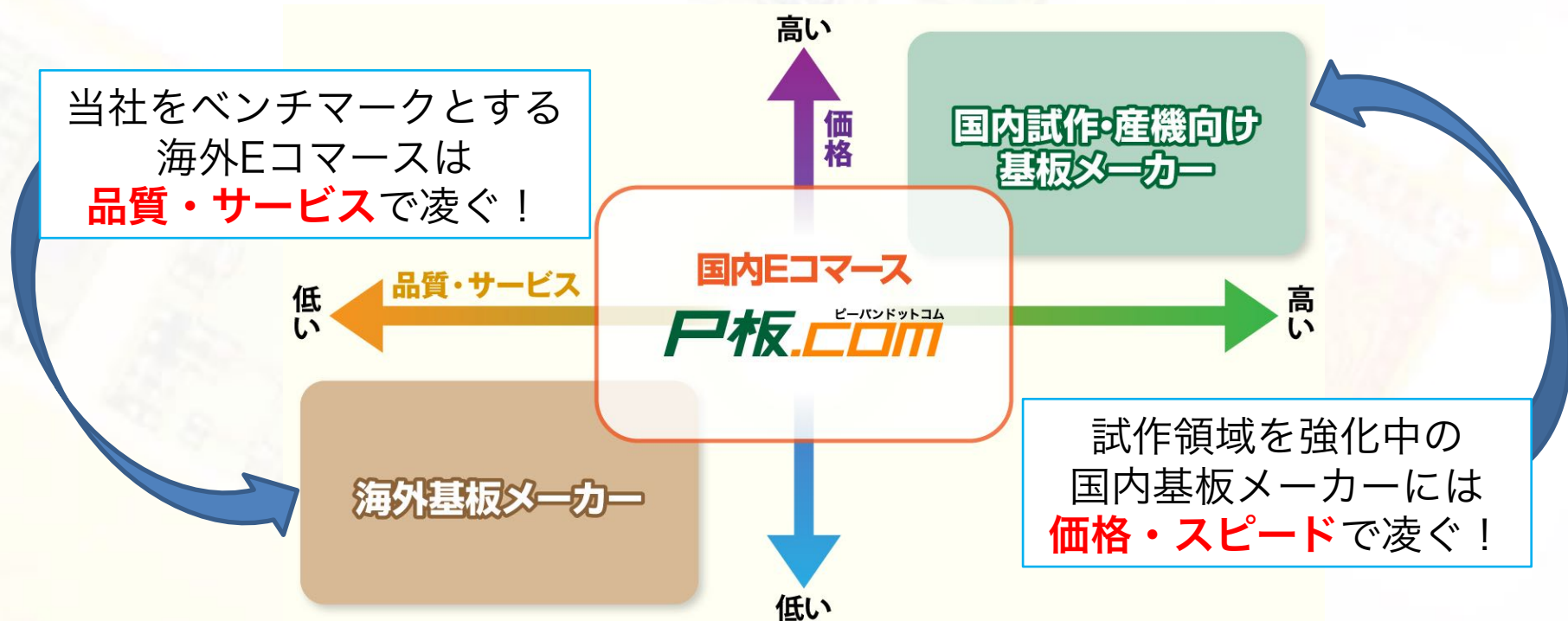
18.2 % → **19.7** %増
(前期2Q) (当期2Q)

製品の極小化の流れを受け、多層基板の需要の増加や、
試作からの継続利用で量産の注文が増加。

多層基板	売上	5.9 %増
量産製造	売上	9.7 %増

競合社（国内・海外メーカー）との競争が進む

当社の取扱うプリント基板の国内市場は、多品種少量へのシフトや海外生産への移行もあり成熟市場だったが、**近年スマートフォンやIoTなどで再び注目され**、以前よりも競争が進んでいる。



サービスの優位性を高め、差別化を図り受注拡大を目指す。

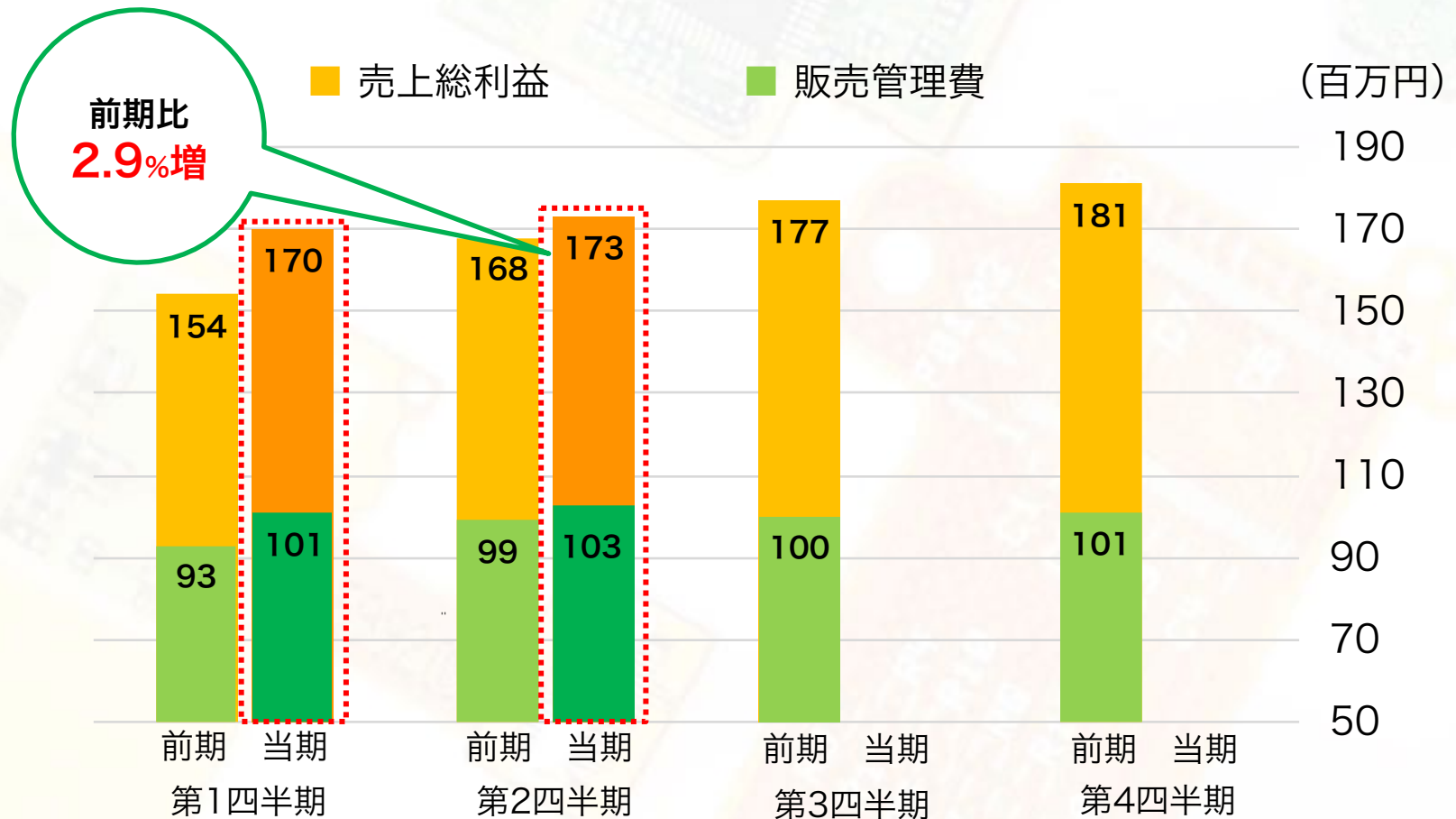
国内生産実績は前年並で推移

米中貿易摩擦など世界経済は先行きが不透明な状況が続く中、国内の**電子工業生産は前期比99.1%**と前年並で推移している。

■国内電子工業生産実績（出展：JEITA 2018年10月発表）

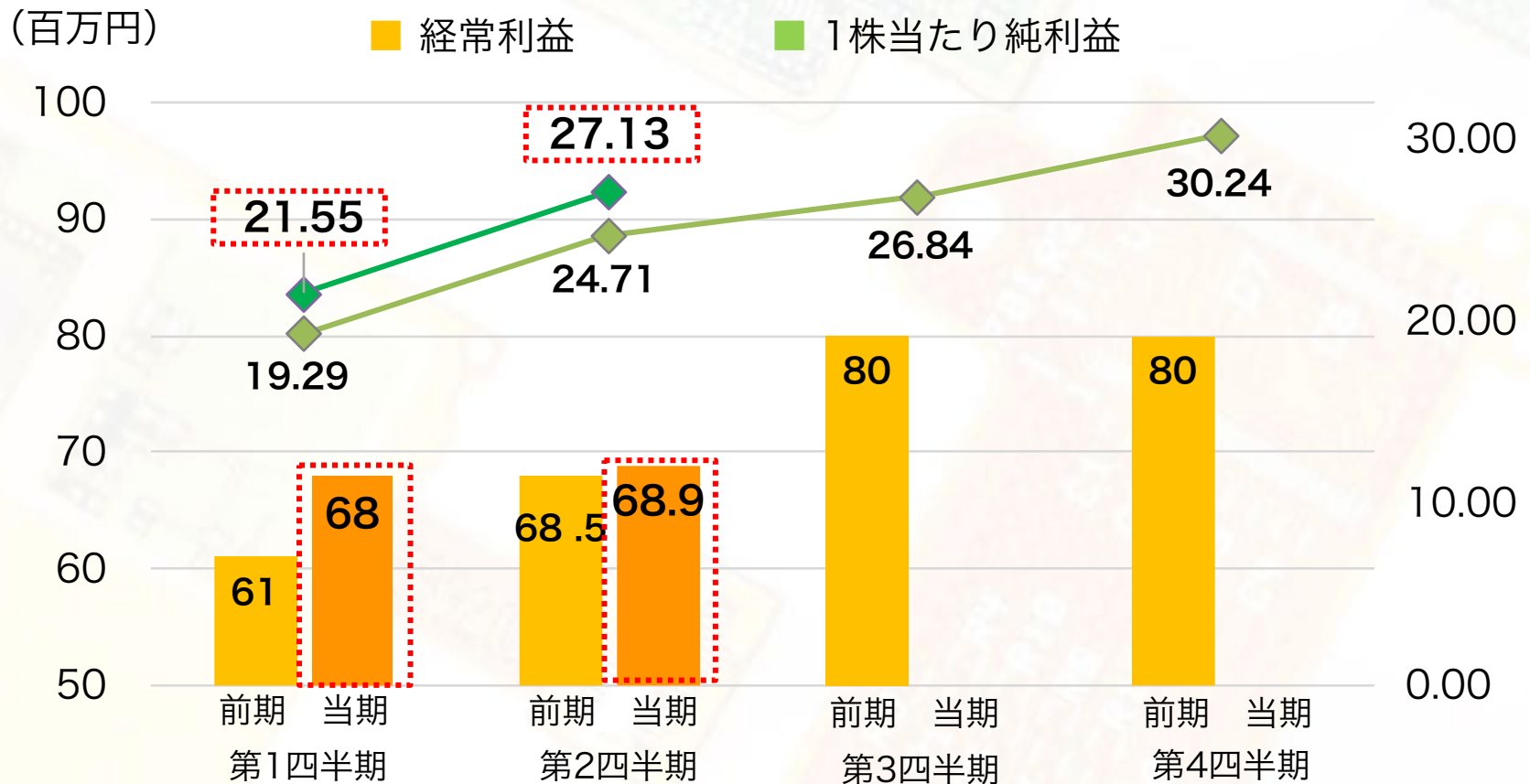
品目	2018年1月～8月累計	
	金額（百万円）	前期比
民生用電子機器	394,448	93.2%
産業用電子機器	2,271,299	101.7%
電子部品	1,782,873	104.7%
└ 電子回路基板	316,194	103.5%
電子デバイス	3,199,352	95.2%
└ 集積回路（IC）	1,829,519	108.1%
電子工業計	7,647,972	99.1%

国内外の仕入比率を調整し、
2Q単独で売上総利益173百万円、前年同期比 2.9%増。
販管費は営業・SE人員強化により103百万円、前年同期比 4.1%増。



※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

経常利益は68百万円、前年同期比0.6%増加、
1株当たり純利益は27.13円、前年同期比9.9%増加。

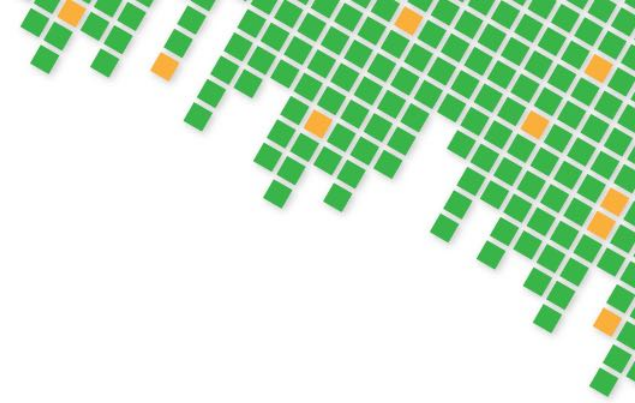


※平成29年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

将来を見据えた事業拡大に向け、**自己資本を充実。**

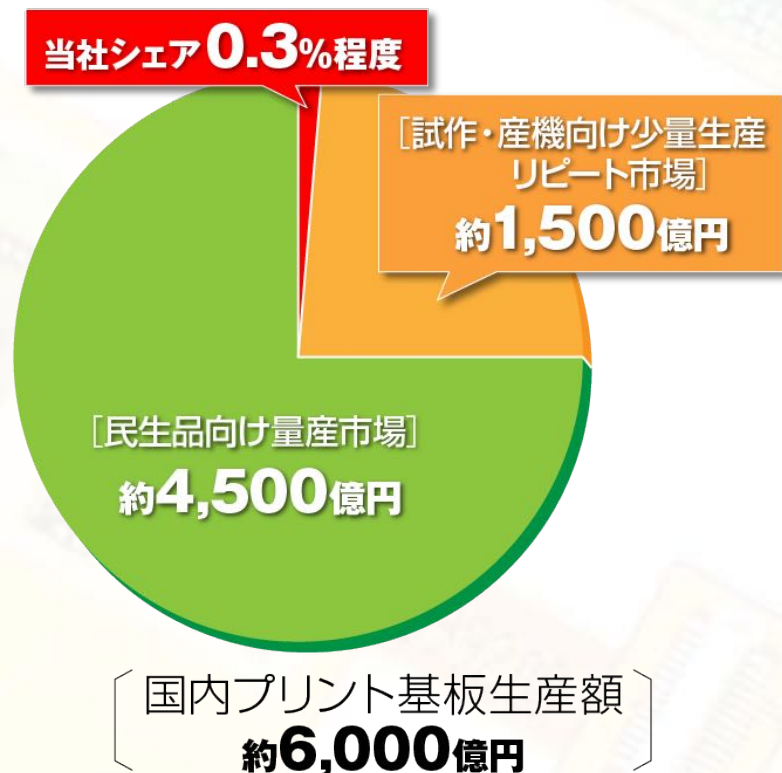
単位：千円

	前期末	2018年 9月末	前期末比	説明
流動資産	1,065,729	1,128,911	63,181	
現金及び預金	790,914	889,704	98,789	売上債権の回収で現預金が増加
売上債権	260,050	213,157	▲46,893	季節性により第2四半期の売掛金は減少
貸倒引当金	▲4,743	▲967	3,775	
固定資産	76,521	76,364	▲157	
ソフトウェア	29,839	29,633	▲205	
資産合計	1,142,251	1,205,276	63,024	現預金の増加
流動負債	335,853	304,369	▲31,483	法人税の支払、未払金の減少
買掛金	206,858	204,503	▲2,354	支払サイトが長い国外仕入が減少
固定負債	9,372	10,117	745	
負債合計	345,225	314,486	▲30,738	
純資産の合計	797,025	890,789	93,763	自己資本比率69%→74%
負債・純資産合計	1,142,251	1,205,276	63,024	



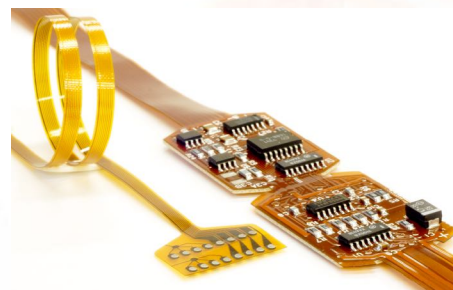
2. 今後の事業戦略

2018年のプリント基板国内生産額は6,249億円、1.6%成長の見込。
前期の当社売上高は19.9億円で市場シェアは0.3%程度で、
当社の**市場獲得余地は大きい**。



第4の産業革命と呼ばれる“IoT”により
センサー市場は10年で**320%**増加（金額）の
見通し。

**IoT、ウェアラブル等に使用される
軽薄短小、屈曲性のあるプリント基板の需要
が拡大していく。**



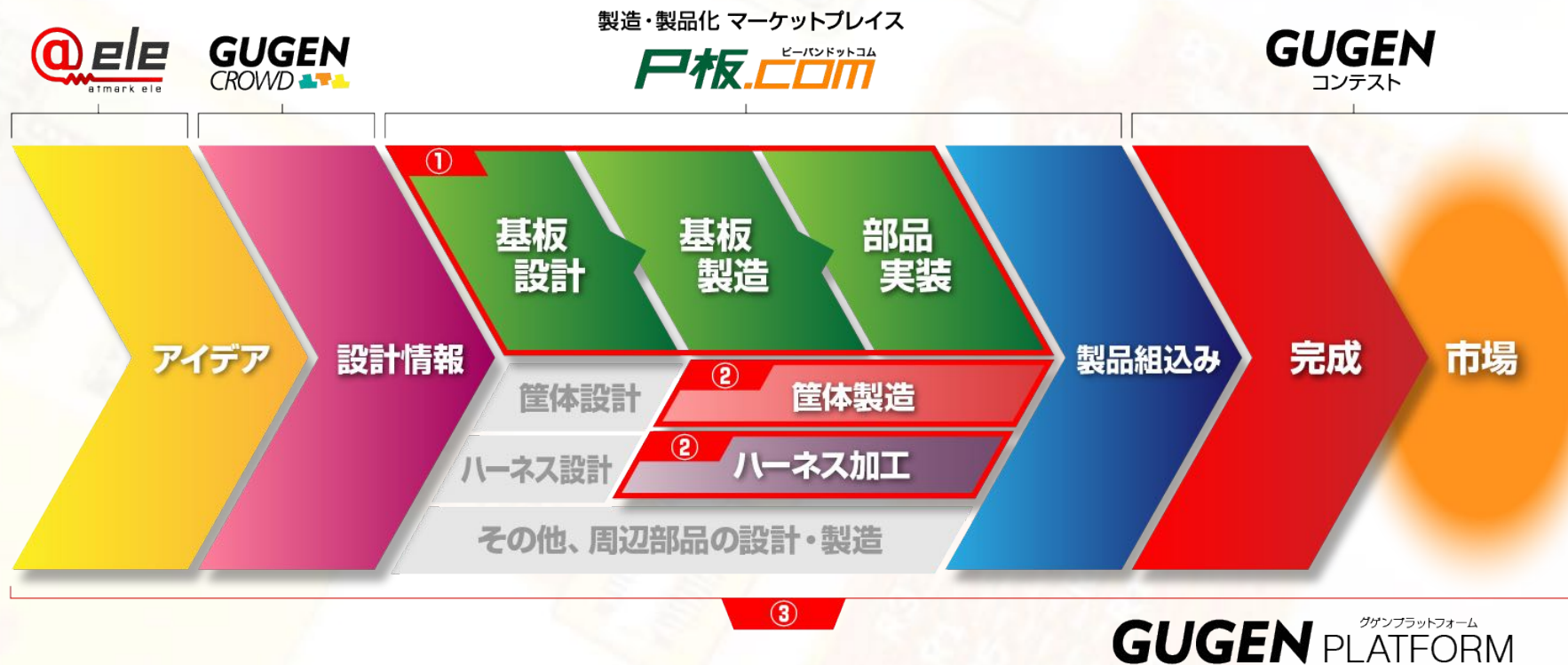
屈曲が可能な
フレキシブル基板



極小化に用いられる
ビルドアップ工法

経営スローガン「開発環境をイノベーションする」に基づいた、モノづくりの工程を支える**GUGENプラットフォーム強化に投資し、市場獲得を加速**していく。

- ① ワンストップソリューションの利用促進
- ② 基板周辺の取扱いアイテム数を拡大
- ③ 他社との連携によるバリュー・チェーン強化



● ワンストップ・ソリューションの利用を促進させ、売上拡大

- ▶ WEBサイトの**ユーザビリティを向上**させ、注文経路を分かりやすくする
- ▶ **AI活用を内製化**し、潜在顧客への**アプローチ改善**や**ビッグデータ解析**に活用する
- ▶ 全国で技術セミナーを無料開催し、**顧客エンジニアとの接点を拡大**する
- ▶ 特定サイズのコンデンサ調達が困難な状況に、**問題を解決する編集サービス**を開始

● 取扱いアイテム数を拡大し、顧客基盤を拡大

- ▶ 車載部品などに用途の広がるカスタムハーネスサービスを正式リリースし、**顧客層の拡大**を図る
- ▶ 需要が拡大しているフレキシブル基板、ビルドアップ基板など、プリント基板の**取扱いラインナップをさらに充実**させる



カーエレクトロニクス
にも利用される
ワイヤーハーネス

●業界エンジニアとの交流を深め、信頼を高める

- ▶ GUGENコンテスト2018の開催
エンジニアの登竜門として認知されているGUGEN、今年で10年目となり、**参加者は過去最大を見込む**。業界の著名人を招聘し12月2日に授賞式を開催予定。
<https://gugen.jp/>



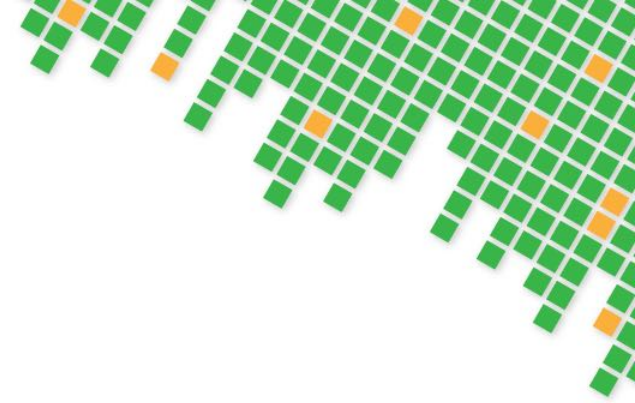
- ▶ Q&AメルマガのYouTube化
2013年より配信の**基板設計ノウハウを凝縮した無料メルマガ**を、今期よりYouTube動画化。分かりやすさが向上し、**好評**いただいている。
https://www.p-ban.com/others/magazine_bk.html



● 他社との連携による、バリュー・チェーンの強化

2018年6月に当社戦略顧問に就任した藤岡淳一氏を通じ、赤いシリコンバレー**中国深圳市や北京市などの新鋭企業との連携を検討中。**
当社経営スローガン「開発環境をイノベーションする」と思いが一致する企業との連携により、**当社ユーザーに格段に便利なサービスの提供**を目指す。



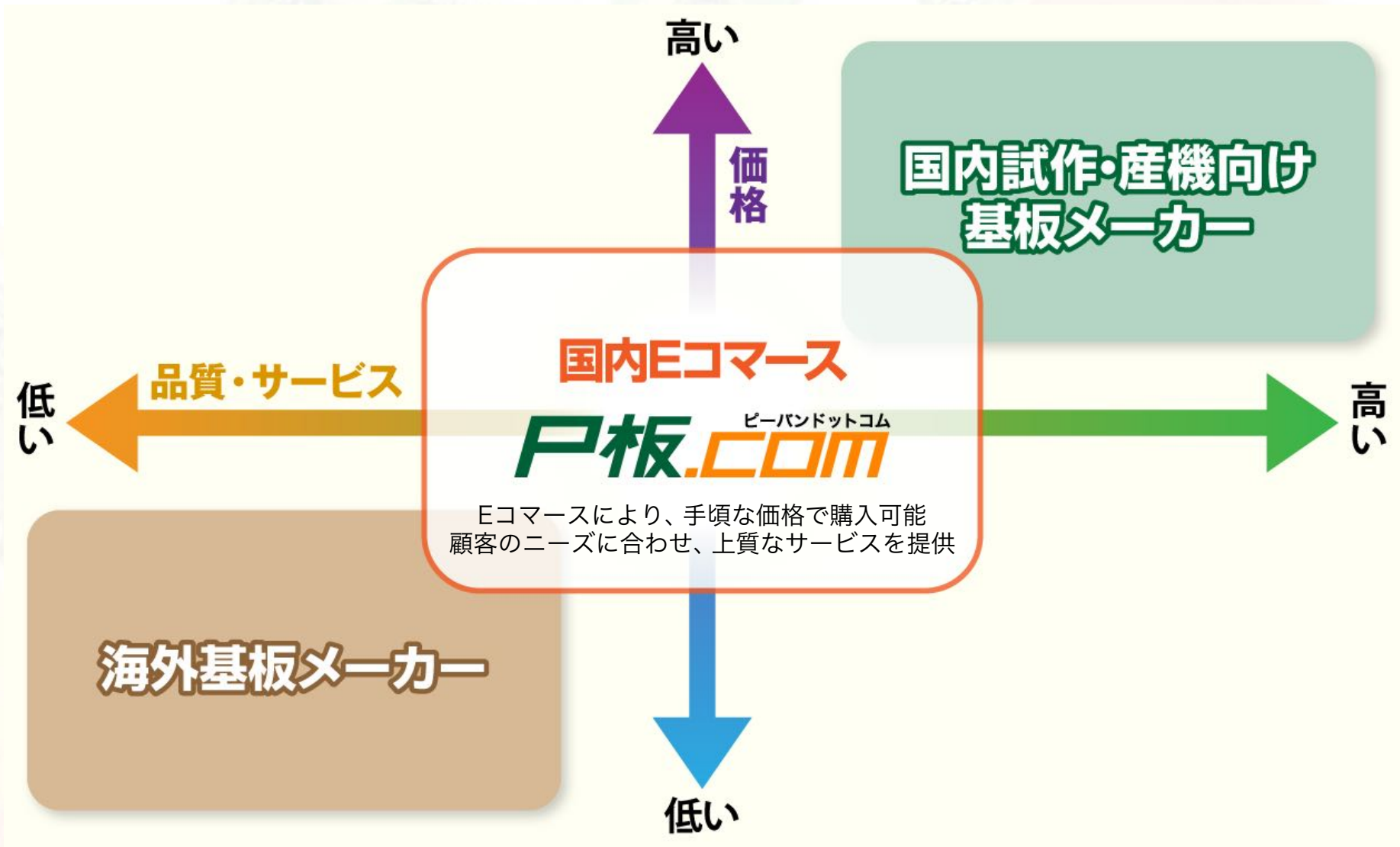


参考資料. 当社の事業概要

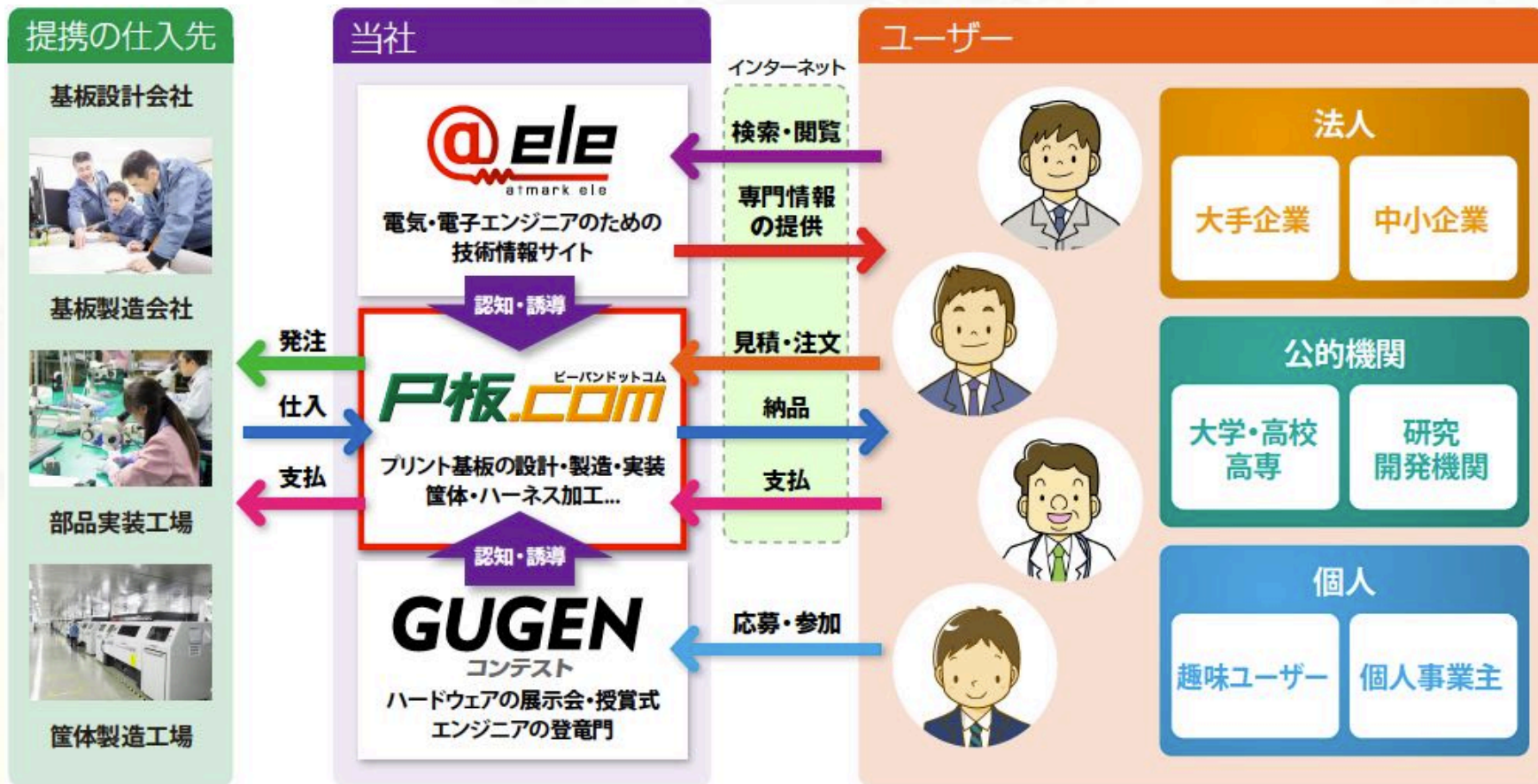
社名	株式会社ピーバンドットコム / p-ban.com Corp.
本社	東京都千代田区五番町14国際中正会館10F
設立	2002年4月（2017年3月東証マザーズ上場）
代表者	代表取締役 田坂 正樹
資本金	152,348千円（2018年9月末時点）
従業員	27名（正社員21名・臨時雇用6名）
事業内容	プリント基板のマーケットプレイス P板.com（ピーバンドットコム）を中心とした、 ”GUGENプラットフォーム”の運営
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

開発環境をイノベーションする

テクノロジーを進歩させることで、
社会問題解決を進める技術と製品を生み出し、
人類の平和と繁栄を創り出す。



プリント基板が誰でも手軽に注文できる仕組みを提供





プリント基板のEコマースサイトを運営

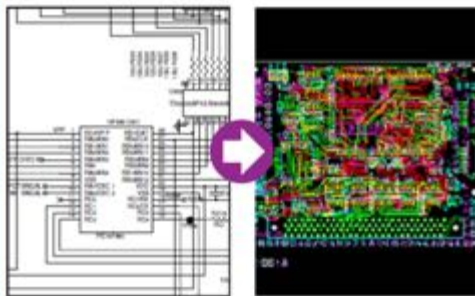
⇒ <https://www.p-ban.com/>

大企業から中小企業、個人、学校法人まで5万ユーザーが登録、
設計・製造・実装の見積、注文をインターネットで完結出来るのはP板.comだけ！

プリント基板の 設計サービス

(無料CAD提供サービス含む)

電子回路図 (トランジスタ、半導体等の部品を繋げた図) を元に、部品の位置を決定し、プリント基板の製造に必要なレイアウトデータを設計する。



回路図データから、基板製造用データを作成。

プリント基板の 製造サービス

製造用のデータを元に、銅はくが張られた基板から不要な銅を科学反応で除去し、データ通りのレイアウトとなるように基板を製造する。

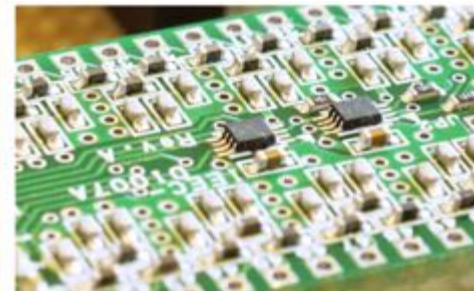


基板製造用データを元にプリント基板を製造。

プリント基板への 部品実装サービス

(部品調達サービス・無料部品提供サービス含む)

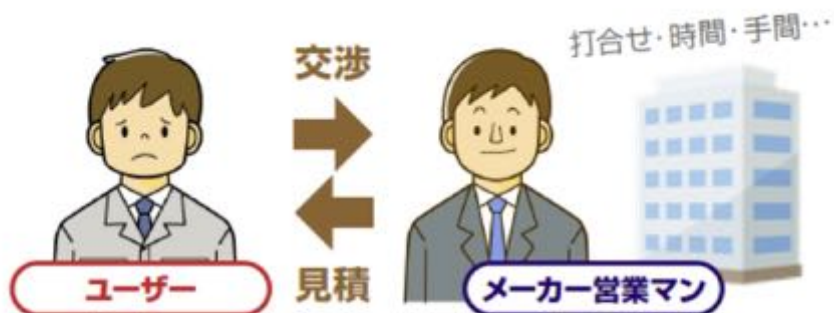
製造した基板の上に、電子部品をはんだで取り付ける。部品の数や形状により、技術者による手実装と機械 (マウンター機) 実装を使い分ける。



プリント基板に電子部品をはんだ付け。

〈従来の購買方法〉

営業マンとの対面で交渉し見積提示、発注に至る



交渉がメーカー主導で、開発者の負担が多い
もっと手軽に基板の作成を行いたい!

定価がなく、メーカーの言い値

高額なイニシャル費用が掛かる

納期は工場ラインの繁忙状況に左右される

纏まった枚数がないと受け入れられない

〈当社サービス〉

ウェブサイト上で自動計算で見積提示、発注出来る



誰にも公平な見積が提示され、余計な交渉が不要!
誰もが手軽に基板を作成出来るサービス

仕様で価格が決まる

イニシャル費用が無料

仕様で納期が決まる

1枚から注文可能



回路・基板設計に特化した技術情報サイトを運営
エンジニアを集客し、P板.comの認知を拡大する。

⇒ <https://www.atmarkele.com/>

業界の権威に記事
執筆を依頼し、
信頼性の高い
コンテンツを作成

@eleの主な著者

前田真一氏

沼倉研史氏



毎月4~10
コンテンツを
更新中

主要コンテンツ

基板の常識
(リジット/フレキ)、
CADマスターへの道、
レジスト、層構成、
シルク、部品実装、
基板製造、基板設計、
配線、他

プリント基板に特化した内容で、基本から応用まで幅広くカバー

オリジナルハードウェアコンテスト

GUGEN

「実用性・商品性」の高い
国内最大級の
ハードウェアコンテスト
Makersの登竜門

若手エンジニアや学生にスポットを当て、
業界の活性化を目指す



GUGEN2016の大賞作品”bioSync”。
動きを共有することでパーキンソン病
等の解決を目指すデバイス

2009年から毎年、ハードウェア作品コンテストを開催
エンジニアの裾野拡大を図る。

⇒ <https://gugen.jp/>



最多応募数 **205** 作品
最多動員数 **500** 名超

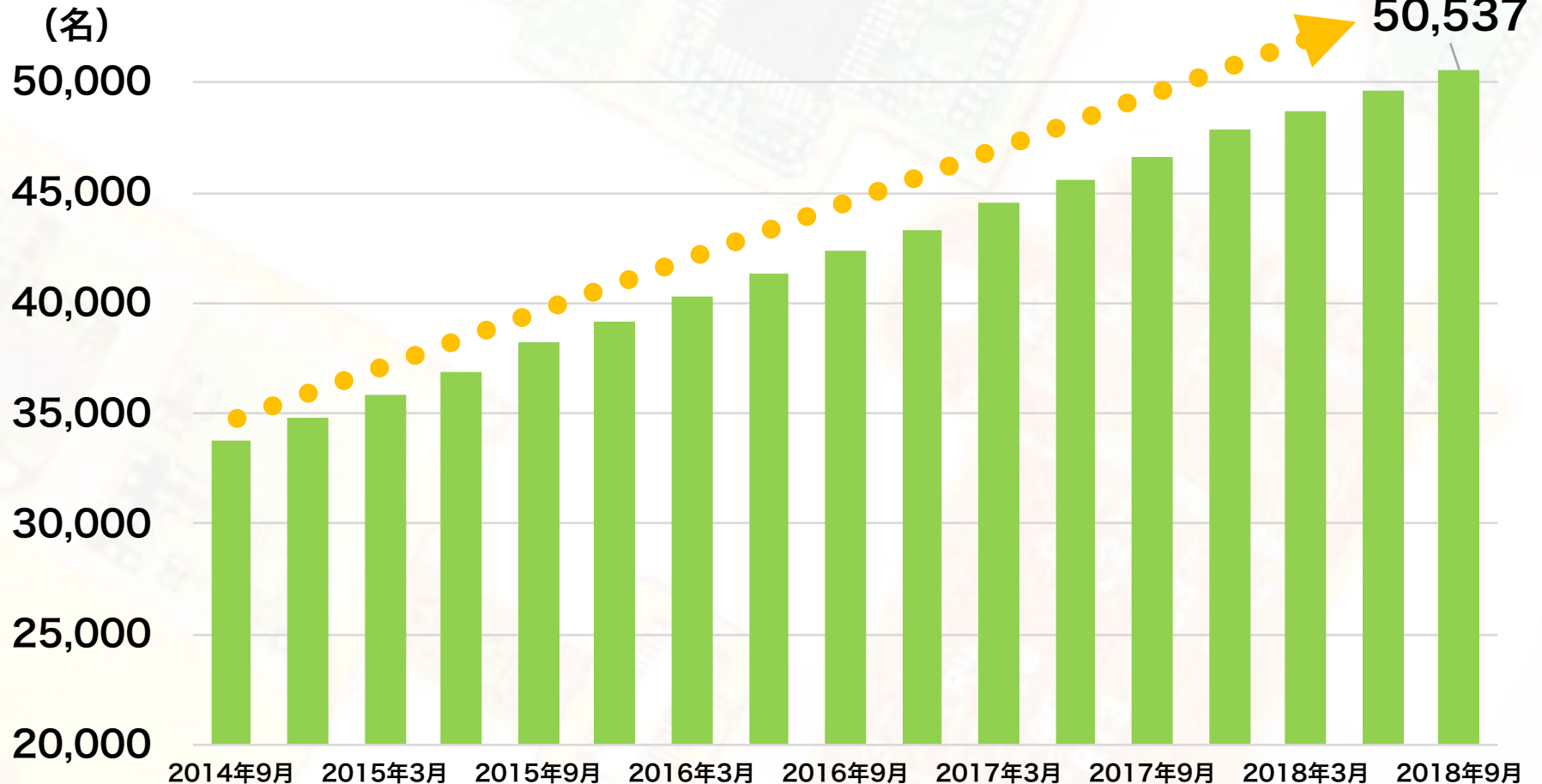


GUGENから生まれた筋電義手。
現在ではオープンソース化され、
義手の拡大に貢献

GUGENの活動は
多くの企業から評価され、
スポンサーは年々増加
コクヨ、マイクロソフト、インテル、
DMM.make、さくらインターネット、他



登録ユーザー数は、累計5万名を突破、
継続成長を目指す。



当社は、2017年3月期第3四半期より四半期財務諸表を作成しており、2017年3月期第2四半期以前は監査法人による監査を受けておりません。

よって、本資料における2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値として掲載させていただきます。

実際の業績等は今後の様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。